

この内容は、2025年6月3日に公表（11月7日に変更）した「2026年度高知大学入学者選抜に関する要項」に基づいています。



2026年度入試 人文社会科学部 の 選抜方法

- ◆選抜区分と募集人員
- ◆選抜方法等の概略
(前年度からの変更点)



この動画では、高知大学人文社会科学部の入試について、実施する選抜区分と募集人員、選抜方法の概略をご説明します。

人文社会科学部

募集人員

2026年度入試

数字は募集人数

昨年度と
変更なし

一般選抜

総合型選抜

学校推薦型選抜

国際
バカロレア
選抜

前期

後期

I

I

II

人文科学コース

64

10

20

国際社会コース

38

10

A選抜 23

B選抜 12

若干名

社会科学コース

A選抜 55

B選抜 10

8

20

5

※詳細については必ず「入学者選抜に関する要項」及び「各募集要項」で確認してください。

人文社会科学部は、コースごとに入試を行います。

すべてのコースで一般選抜と学校推薦型選抜 I を実施しますが、社会科学コースは後期日程がなく、総合型選抜 I と学校推薦型選抜 II を実施します。

人文社会科学部

人文科学コース

選抜方法

2026年度入試

一般選抜

前期

後期

【共通テスト】

➢ 6-7教科6科目 650点

【個別試験】

➢ 英語 150点

➢ 活動報告書※

【共通テスト】

➢ 6-7教科6科目 650点

【個別試験】

➢ 面接 100点

学校推薦型選抜

I

➢ 調査書：4.0以上

➢ 外国語(英語) 50点

➢ 面接(調査書, 推薦書, 志願理由書, 学修計画書) 200点

「地歴・公民」で
「地理総合/歴史総合/公共」を選択した場合は「7教科型」となります

※ 活動報告書（意欲的に取り組んだ活動1件）の評価は、
合否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。

一般選抜の共通テスト：地歴・公民1科目。数学1科目50点。理科1科目50点



それでは、各コースの選抜方法について説明します。

まず、人文科学コースです。

人文科学コースでは、一般選抜の前期・後期日程及び学校推薦型選抜Iを実施します。

学校推薦型選抜Iは、共通テストを課さない選抜です。「面接」は、個人面接の方法で行います。面接時間は約10分間です。

人文社会科学部

国際社会コース

選抜方法

2026年度入試

一般選抜		学校推薦型選抜	
前期	後期	A選抜	B選抜
<p>【共通テスト】 ➢ 5-6教科5科目 600点</p> <p>【個別試験】 ➢ 英語 200点 ➢ 活動報告書※</p>	<p>【共通テスト】 ➢ 5-6教科5科目 600点</p> <p>【個別試験】 ➢ 面接 200点</p>	<p>➢ 調査書：4.0以上</p> <p>➢ 小論文 100点</p> <p>➢ 面接(調査書, 推薦書, 志願理由書, 学修計画書) 100点</p>	<p>➢ 調査書:4.3以上(外国語) ※「主として専門学科において開設される各教科としての英語」の履修者は当該科目4.0以上が併せて必要 ※「主として専門学科において開設される各教科としての英語」のみを履修する者は当該科目4.0以上</p> <p>➢ 面接(英語)(調査書, 推薦書, 志願理由書) 200点</p>
<p>一般選抜の共通テスト：数学と情報から1科目選択50点。 地歴・公民1科目。理科1科目50点</p> <p>※ 活動報告書（意欲的に取り組んだ活動1件）の評価は、合否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。</p>			
国際バカロレア選抜			
<p>➢ 書類審査(志願理由書, IB成績, EE, TOK, CAS, 外部英語試験成績)100点</p> <p>➢ 面接 100点</p>			

次は、国際社会コースです。

国際社会コースでは、一般選抜の前期・後期日程及び学校推薦型選抜 I を実施します。

学校推薦型選抜 I には、A選抜とB選抜があります。

A選抜の「小論文」は、課題文を提示し受験者の論述を求める形式をとり、読解力、思考力、判断力、表現力を総合的に評価します。解答時間は60分間です。「面接」は集団面接で、面接時間は1組が約25分間です。

B選抜は英語での集団面接があり、特に英語の能力を重視する選抜となっています。面接時間は1組が約25分間です。

人文社会科学部

社会科学コース

選抜方法

2026年度入試

一般選抜		総合型選抜	学校推薦型選抜				
前期		I	I	II			
A選抜	B選抜						
【共通テスト】 ➤ 6-7教科 7科目 820点	【共通テスト】 ➤ 6-7教科 7科目 820点	【第1次選抜】 募集人員の2倍程度を合格 ➤ 志願理由書 100点 ➤ 講義理解力試験 100点	➤ 調査書：4.0以上 ➤ 口頭試問(時事問題)を含む面接 (志願理由書) 200点	【共通テスト】 ➤ 3-4教科3科目 500点			
【個別試験】 ➤ 小論文 400点 ➤ 活動報告書※	【個別試験】 ➤ 小論文 400点 ➤ 活動報告書※	【第2次選抜】 ➤ ゼミナール活動適性試験 100点 ➤ 作文 100点 ➤ 面接 100点 ➤ 第1次選抜の講義理解力 試験 100点		【個別試験】 ➤ 面接(志願理由書) 200点			
昨年度からの変更点		▶ 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ使用→20点					
※活動報告書（意欲的に取り組んだ活動1件）の評価は、合否境界上で同順位となった者に対してのみ行います。							
B選抜の共通テスト：数学1科目で200点。 • パターン1：地歴・公民2科目各100点、理科1科目100点 • パターン2：地歴・公民1科目100点、理科2科目各100点⇒理系からの出願も可能。							
▶ 共通テスト：情報の得点は、合否境界上で同順位となった者に対する判定においてのみ使用→地歴・公民、数、理、情報から1選択							

次は、社会科学コースです。

社会科学コースでは、一般選抜後期日程を実施しません。また、学校推薦型選抜I・IIの他に、共通テストを課さない総合型選抜Iを実施します。

一般選抜前期日程における共通テストの情報の得点は、共通テストの総合得点に加算となります。

一般選抜前期日程のB選抜は、共通テスト科目が数学は1科目で配点が200点となっています。また「地歴・公民と理科から選択」となるため、地歴・公民を1科目100点とする場合は、理科は2科目で200点となり、理系からの出願も可能です。科目選択方法の詳細は、選抜要項等でご確認ください。

総合型選抜Iの第1次選抜の「講義理解力試験」では、教員による講義を行い、その理解力を確認するための試験を実施します。試験は小論文形式になります。第2次選抜では、ゼミナール形式の授業に関する適性試験とそれを踏まえた作文及び面接を実施します。ゼミナール形式の授業とは、少人数のグループで討論したり一定の課題を考えたりする授業です。

学校推薦型選抜Iの「口頭試問を含む面接」は、集団面接の方法で行います。時事問題を出題し、社会問題に対する知識や関心、理解力を問います。面接時間は1組が約50分間です。

学校推薦型選抜IIは、共通テストは国語と外国語が必須で、地歴・公民、数学、理科、情報から1科目選択します。

2026年度入試の概略について
ご説明しました。

各選抜の詳細については、必ず
入学者選抜に関する要項 及び **募集要項**
で ご確認ください。



以上、2026年度入試の概略をご説明しました。

各選抜の詳細については、必ず「入学者選抜に関する要項」及び「募集要項」で確認するようにしてください。